

# 第9回県中学生百人一首かるた大会 参加者募集!

この4月に中学1~3年生になる方を対象に、使用札を40枚に限定した百人一首かるた大会を開催します。百人一首かるたの経験がない方でも、大会当日に予行演習を行いますので、この機会にぜひご参加ください。



日 時：2026(令和8)年5月5日(火祝) 12:30～(遅くても16:30まで)

12:30～12:40(開会式) 12:40～15:00(予行演習・予選リーグ) 15:10～(決勝トーナメント)

場 所：ユープラザうたづ 2階和室 (香川県綾歌郡宇多津町浜六番丁88)

参加資格：2026(令和8)年4月時点で 中学1～3年生 (県外の方も可)

主催：香川玉藻かるた会 後援：香川県教育委員会、各市町教育委員会(高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、直島町、三木町、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町、四国中央市)、KBN

・参加・申込先：参加費は 無料 です。

## 申込フォーム

・参加希望の方は、**申込フォームにて登録または参加申込書の必要事項を記載したメールを送信**もしくは**郵送にて申込書を下記あてに送付**してください。原則、申込受付時の連絡は行いませんが、内容に不備等がある場合は連絡を行うことがあります。**参加受付した場合は、申込締め切り後にご自宅に案内文書を郵送するほか、大会終了後にご自宅に結果一覧を郵送します**ので、申込の際には住所等を正確にご記入ください。



〒760-0055 香川県高松市觀光通2-10-22 香川玉藻かるた会事務局あて

E-mail kagawa-tamamo\_karuta@abelia.ocn.ne.jp



- 試合方法・賞状・賞品：一般社団法人全日本かるた協会が定める公式ルールに準拠した本大会特別ルールにより、1対1の個人戦で行います(使用札は裏面をご参照ください)。
- 予選リーグの前に、参加者全員による勝ち負けの付かない予行演習(2試合)を行います。
- 賞状・賞品：  
優 勝——賞状+図書カード5,000円分  
準優勝——賞状+図書カード3,000円分  
3 位——賞状+図書カード2,000円分

(切り取り線)

## 第9回県中学生百人一首かるた大会 参加申込書

(ふりがな) 氏 名	男女	学 校 学 年	(2026年4月時点) 中学校 年	
郵便番号 住 所	〒 市・郡 町	連 絡 先 電 話 番 号		

・申込締め切りは 2026(令和8)年4月10日(金)です。期限厳守でよろしくお願ひします。

・記載いただいた個人情報については、本大会以外の目的で利用することはありません。

No.	五色かるた	上の句	下の句(札に書いてある方)	詠み人
1	青色	あしひきの 山鳥の尾の しだり尾の	なかなかしよを ひとりかもねむ	柿本人麻呂
2	青色	あまつ風 雲の通ひ路 吹き閉ぢよ	をとめのすかた しはしととめむ	僧正遍照
3	青色	みち奥 のしのぶもちずり 誰ゆゑに	みたれそめにし われならなくに	みなものとおる 源融
4	青色	このたびは 紙取りあへず 手向山	もみちのにしき かみのまにまに	すがわらのみちざね 菅原道真
5	青色	あさぼらけ あり明の月と 見るまでに	よしののさと ふれるしらゆき	さかのうさとこれのり 坂上は則
6	青色	めぐり逢ひて 見しやそれとも 分かぬ間に	くもかくれにし よはのつきかな	わらさきいさき 紫式部
7	青色	よをこめて 鳥のそら音は はかるとも	よにあふさかの せきはゆるさし	せいじょうなごん 清少納言
8	青色	もも敷や 古き軒端の しのぶにも	なほあまりある むかしなりけり	じゅんじょくくんのう 順徳天皇
9	ピンク	あきの田の かりほの庵の 苦をあらみ	わかころもては つゆにぬれつつ	てんじてんのう 天智天皇
10	ピンク	しのぶれど 色に出でにけり わが恋は	ものやおもふと ひととのふまで	たいらのねもり 平兼盛
11	ピンク	かぜをいたみ 岩うつ波の おのれのみ	くたけてものを おもふころかな	みなものしげゆき 源重之
12	ピンク	かくとだに えやは伊吹の さしま草	さしもしらしな もゆるおもひを	ふじわらのさねかひ 藤原実方
13	ピンク	もろともに あはれと思へ 山桜	はなよりほかに しるひとなし	ぎょうそんたいぞうじょう 行尊大僧正
14	ピンク	よのなかよ みち道こそなけれ 思ひ入る	やまのおくにも しかそなくなる	ふじわらのしゅんせいや 藤原俊成
15	ピンク	なげけとて 月やはものを 思はする	かこちかほなる わかなみたかな	さいぎょくとうり 西行法師
16	ピンク	こぬ人を 松帆の浦の 夕なぎに	やくやもしのの みもかれつつ	ふじわらのくわい 藤原定家
17	黄色	はるすぎて 夏来にけらし 白妙の	ころもほすてふ あまのかくやま	じとうてんのう 持統天皇
18	黄色	あまの原 ふりさけ見れば 春日なる	みかさのやまに いてしつきかも	あべのなまき 阿倍仲麻呂
19	黄色	ひさかたの 光のどけき 春の日に	しつころなく はなのちるらむ	きのとものり 紀友則
20	黄色	しら露に 風の吹きしく 秋の野は	つらぬきとめぬ たまそちりける	ふんやのあさやす 文屋朝康
21	黄色	おほえ山 いく野の道の 遠ければ	またふみもみす あまのはしたて	こしよぶのないし 小式部内侍
22	黄色	あきかぜに たなびく雲の 絶え間より	もれいつるつきの かけのさやけさ	ふじわらのあきすけ 藤原顯黙
23	黄色	みよし野の 山の秋風 さ夜更けて	ふるさとさむく ころもうつなり	あすかいのまつね 飛鳥井雅経
24	黄色	はなさそふ 嵐の庭の 雪ならで	ふりゆくものは わかみなりけり	さいおんじさんづね 西園寺公経
25	緑色	わがいほは 都のたつみ しかぞすむ	よをうちやまと ひととはいふなり	きせんほうし 喜撰法師
26	緑色	はなの色は 移りにけりな いたづらに	わかみよにふる なかめてしまに	おののこまち 小野小町
27	緑色	ちはやぶる 神代も聞かず 竜田川	からくれなみに みつくくるとは	ありわらなりひら 在原業平
28	緑色	こころあてに 折らばや折らむ 初霜の	おきまとはせる しらきくのはな	おおしこうらのみづね 凡河内躬恒
29	緑色	ひとはいさ 心も知らず ふるさとは	はなそむかしの かににはひける	きのつらゆき 紀貫之
30	緑色	こころにも あらで憂き世に 永らへば	こひしかるべき よはのつきかな	さんじょうさんのう 三条天皇
31	緑色	わがそでは 潮干に見えぬ 沖の石の	ひとこそしらね かわくまもなし	にじょういんくめき 二条院讚岐
32	緑色	よのなかは 常にもがもな 渚漕ぐ	あまのをふねの つなてかなしも	みなものさねかみ 源実朝
33	オレンジ	あひ見ての 後の心に くらぶれば	むかしはものを おもはさりけり	ふじわらのあつだ 志藤原忠
34	オレンジ	なげきつつ ひとり寝る夜の 明くる間は	いかにひさしき ものとかはしる	ふじわらのまらみづね 藤原道綱母
35	オレンジ	あさぼらけ うちの川霧 絶え絶えに	あらはれわたる せせのあしろき	ふじわらのさだより 藤原定頼
36	オレンジ	はるの夜の 夢ばかりなる 手枕に	かひなくたたむ なこそをしけれ	すおうのないし 周防内侍
37	オレンジ	せはをやみ 岩にせかるる 滝川の	われてもすゑに あはむとそおもふ	すとくとんのう 崇徳天皇
38	オレンジ	おほけなく うき世の民に おほふかな	わかたつそまに すみそめのそて	じょんたいいそじょう 慈円大僧正
39	オレンジ	かぜそよぐ 檜の小川の 夕暮は	みそきそなつの しるしなりける	ふじわらのいせかひ 藤原家隆
40	オレンジ	ひとも惜し 人も恨めし あぢきなく	よをおもふゆゑに もののおもふみは	ごとほんのう 後鳥羽天皇

- 本大会で使用する札は 100 枚のうちの上記 40 枚です。残り 60 枚はこの大会では使用しません。
- 上記表では五色かるた札での色を掲載していますが、大会では、色分けされていない、書店などで市販されている通常のかるた札を使用します。試合では上の句から詠んでいきます。
- 互いに札を 10 枚ずつ取り、自分の方に向けて並べます（残り 20 枚は詠まれても両陣に存在しない空札となります）。**自陣の札を先に無くした方が勝ちです。**相手陣の札を取ったときは自陣から好きな札 1 枚渡すことで自陣の札を減らしていきます（自陣の札を取ったときはそのまま試合が続きます）。
- 札を同時に取った場合は、じゃんけんではなく、その札を持っている人（札が向いている側の人）の取りになります。